



# 校長室だより



平成30年6月

半田市立亀崎小学校

発行者：貝 沼 眞 幸

## 「水」と「排泄」は自分持ち ～家族会議をしよう～

「水と排泄は自分持ち」。これは、昨年度まで半田市防災監として防災減災のためにご尽力されていた方が言われていた言葉です。

いつ、どこで、どの程度の災害が起こるかは分かりませんが、生き延びた後、ライフラインが復旧するまでの間、自分や家族の命をつなぐために、備えが大切です。水が無いと人は生きられません。同時に排泄も

我慢ができないことです。家族だからこそ理解し合って解決できる「排泄」だと考えます。

わが家にも「水、クラッカー、非常用ご飯、懐中電灯…」など、最低限のものを備えています。簡易トイレは自作して、後は、隠すためのポンチョがあればなんとかできます。飲食物は避難所へ、寝る場所はダンボールや古い絨毯を敷いて自宅車庫で、と想定しています。息子には、「たとえ電車が止まっても、道路が通れなくなっても、歩いて家に集合」と言っています。これで十分かどうかは分かりませんが、わが家が行っている最低限の備えです。

その地域、住居によって想定すべきことは違います。小学校での防災キャンプのときにはいつも言っていますが、「〇〇してくれない」ではなくて「何ができるか自分で考える」「できることは自分です」ことが大切です。何かの避難訓練のときは、防災減災の家族会議を、ぜひ開いてください。

## 「緊急情報共有化広域ネットワーク」活用訓練実施

5年連続で行っている訓練です。本年度も「緊急情報共有化広域ネットワーク」活用訓練を実施しました。事件の想定は「東浦町森岡のコンビニに、刃物様の物を所持した男が押し入り、現金を奪って黒色の自転車で逃走中」でした。

FAXから緊急情報が入ると、「ボランティアパトロール」「地区防災会」「地元消防団」「保護者」の方にも協力いただき、地域の様子、情報を得ます。その後、下校方法を判断して、引率下校や保護者引き取りなど対応を行います。

今回の訓練でも、地域関係者の皆様にはパトロールや立哨、引率で参加していただきました。亀っ子は亀崎地区の大人に見守られる中、元気よくあいさつをして下校をしていきました。

防災キャンプに参加して

秋田心暖

避難所体験をした新聞記事を見て興味をもち、夏休みに学校での防災キャンプに参加しました。そこで防災のことについて学び、一晚、避難所生活を体験しました。キャンプでの食事は、体育館のゆかです。べちゃべちゃごはんは冷たいかんづめで、はしが進みませんでした。ねる時は、教室をダンボールのかべでしきり、ゆかにしき物をしいてねましたが、とてもおむし暑くて、虫も気になり、ゆかもかたくてねれませんでした。その時に、周りの人に迷わくをかけないよう、ウォークマンを聞いている友達がいました。とても良い対策だと思いました。でも、こんな日が何日も続くのは大変だと思いました。この経験を生かして、避難所生活のこともっと考え、備えることが大切だと思いました。これから、防災に関した行事に積極的に参加していこうと思います。

＜中日新聞尾張青年会主催防災エッセイコンテスト 小学生の部 優秀賞作品＞



**水泳がはじまります 約束を守って安全に学習しましょう**

亀っ子たちの大好きなプールがはじまります。

一年の間に、風雨に飛ばされた砂や落ち葉で、プールやプールサイドは泥だらけ。毎年のように、5・6年生が、プールやプールサイド、更衣室などをきれいに掃除してくれました。高学年の亀っ子たち、ありがとう。

水泳の学習は、低学年は水に浮くことや潜ることを中心に「水遊び」をします。中学年は補助具を使いキックやストロークなど「浮く・泳ぐ運動」。高学年では「クロール」と「平泳ぎ」を続けて長く泳げるように学習を進めます。もちろん、飛び込みは禁止しています。

水泳学習を前に、消防署の方にご指導をいただき、PTA厚生部委員・役員の皆さんと教職員で、心肺蘇生救急法訓練を行いました。体育館では、意識の確認から、心肺蘇生、A



EDの体験を全員が行いました。その後、プールに移動し、「授業中におぼれ意識がない」と想定し、水泳指導中の教員4名・監視者1名で、意識の確認、救命から通報、連絡、搬送までの訓練を行いました。プール管理室からの119通報、職員室への応援要請、他の児童管理、管理職や保護者への連絡、記録等、救命と同時に対応すべきこと確認し、訓練を重ねています。



**ぐいぐい引き込まれた「みんなのアウトリーチ音楽授業」**



5月28日(月)、セントラル愛知交響楽団の方を講師に4年生が音楽の授業を行いました。はじめに、「アラホーンパイプ」や「ユーモレスク」の演奏を聴きました。バイオリンやファゴット、ホルンの説明もありました。講師の方の話術とプロ交響楽団の音色に、ぐいぐいと引き込まれ、生の演奏に聴き入ってしまいました。そして、バイオリンやトランペットに触れ、音出しにも挑戦できました。

演奏者に向けての指揮も体験できました。タクトを速く振れば演奏は速く、遅く振れば遅く、亀っ子たちはとても楽しそうでした。授業の終わりに、プロの演奏に合わせて「はじめの一步」を歌いました。楽しかったことが伝わる、澄んだ歌声でした。



**【表彰がありました】 入賞おめでとう！**

- 全国ジュニアソフトテニストレーニングキャンプ2018 ※昨年度大会入賞
  - 女子5年生の部 第3位 6の3 瀬戸口珂乃 (5-3)
- 第19回愛知県空手道選手権大会
  - 小学2年生 男女 型 準優勝 2の1 天木大智
- 平成30年度第1回名古屋地区春季記録会
  - 小学6年女子 ジャベリックボール投 第4位 6の1 秋田心暖
  - 小学4年女子 走り幅跳び 第6位 4の3 間瀬珠理
- 平成29年度中日新聞尾張青年会主催防災エッセイコンテスト
  - 小学生の部 優秀賞 6の1 秋田心暖
- 第64回全日本中学通信陸上競技名古屋地区混成競技会兼名古屋地区小学生記録会
  - 小学女子ジャベリックボール投 第7位 6の1 秋田心暖
  - 小学4年女子 50m 第7位 4の3 石川陽南子
- 平成30年度半田市体育大会陸上競技
  - 小学女子4年以下 50m 第1位 4の3 石川陽南子
  - 小学女子 800m 第1位 4の1 天木心音
  - 小学女子4年走り幅跳び 第3位 4の3 間瀬珠理
  - 小学男子3年以下走り幅跳び 第3位 2の3 小山虎琉